

## 葛城市の川と里川再生

街作り討論会追加資料

土永恒彌

## 葛城市の川と里川再生

大和川の1次支流

葛下川（かつげがわ）：磐城村岩橋→北流→王寺村→大和川

太田の葛城山系・岩橋山東麓に発し北東流、南今市・八川・尺土地区を貫流、高田市で岩谷川、熊谷川、初田川、鳥居川を合わせて北流

下流部で、すがる川、竹田川、平野川、尼寺川、滝川を合わせて流下

一級河川の起点は南今市のナツメハラ・五反田

流域面積約 47km<sup>2</sup>、流路延長約 15km

岩谷川：兵家（ひょうげ）の葛城山系・岩橋山東麓に発し北東流、長尾・当麻・勝根地区を貫流。一級河川の起点は竹内の上田

熊谷川：竹内の葛城山系・平石峠に発し北東流、竹内地区を貫流、竹内街道を越え竹内古墳群を左手に見て流れ、当麻に至る。

一級河川の起点は竹内の広垣内・二号。

曾我川：南葛城郡葛城村重坂（巨勢丘陵）→河合村→大和川

薬水川、朝町川、今木川、吉備川、満願寺川の支川を合わせて北流、橿原市において平野部に流入し、高取川、坊城川、小金打川を合わせ、盆地の中央で葛城川、高田川の支川を合わせて大和川に合流

天井川でなく、流域地域に用水の便を与えている。

流域面積 156km<sup>2</sup>、流路延長約 25km

明治 23 年に近代的大改修がなされた。

曾我川支流

葛城川：南葛城郡葛城村鴨神→新庄村笛堂→北流し高田川と合流→曾我川と合流

河床が田面より高い「いっかき川」下流は全く水利の便がなく、つねに水が枯れて天井川となっている。

高田川：新庄村山中→北流→河合村→葛城川と合流→大和川

高田川北流：寺口の葛城山系東麓に発し北東流、寺口・南藤井地区を貫流、葛木で高田川左岸に注ぐ。この、注ぎ込む先の高田川を高田川南流と呼ぶ。

高田市内は道路、南部で大田川と合流し、北部で再び旧高田川に合流

大田川：新庄町葛城山中→磐城村尺土→高田川

住吉川：南葛城郡掖上村→葛城川

北葛城郡史M37年 私達の社会—北葛城—S29年

AGUA 大和川→流入河川→葛下川

<http://agua.jpn.org/yamato/cover.html>

<http://agua.jpn.org/yamato/katuge/katuge.html>

## 葛城市の川と里川再生

### 街作り討論会追加資料

土永恒彌

#### ○里川の考え方

近年川の環境を保全し守る運動は全国の様々な地域で取り組まれ、貴重な成果も得られている。このような運動の中から「里川」という考えが提唱されている。「里川」は、水質や生物の分野はもとより、水辺の歴史・文化、景観、都会の緑地・憩いの場、住民の保全活動など、河川の水循環にかかわる問題について気づき考える場としての「流れ」とされる。この考え方には、「里山」と同様に、身近な河川に対する“人とのかわり”をより意識することにより、河川環境再生の目標にするという思いが込められている。

#### ○昔の川のイメージ

人々が関わっている川

人々が寄り添う川

葛城の川は？

近畿の川

#### ○何から始めるか？

何故川が必要なのか

川の良さ、楽しさを見つめ直す

調査、観察：誰にでも出来る内容

記録：日々の記録→水量、流出

聞き取り：昔の状況

変化の時期→開発と変化、

環境の担い手：地域共同体。

#### ○健全性指標

水質（BOD,COD）から総合指標へ

市民や子供でも出来る調査

解りやすい指標

川作りは街作り

共生の精神

①自然の時間スケールで（長い時間）

②見守り、手入れし（適正管理）

③資源を使い尽くさない（ストック）

④感謝の気持ち

⑤適切に使う（必要なときに、だけ）

⑥水系一環の思想。古来からあった。